

解答

一

- | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|---|-------|---|----|---|-----|---|----|
| (1) | ① | かせん | ② | よくしゅん | ③ | つら | ④ | てんこ | ⑤ | あま |
| (2) | ① | 直 | ② | 収集 | ③ | 己 | ④ | 築 | ⑤ | 賃貸 |
| (3) | ① | ア | ② | イ | ③ | ア | ④ | イ | ⑤ | ア |
| (4) | ① | イ | ② | エ | ③ | ア | ④ | ア | ⑤ | ウ |

二

- 問一 日常生活スケジュールをこなしていく〔ため〕
ア
問二 夜明けを予知する働き。／ 外敵の少ない時間帯を感知する働き。
問三 遠征の中で見聞きする新しい科学的知見
問四 A × B ○ C × D ○
問五 A × B ○ C × D ○
問六 A 太陽 B 月の光 C 生存する
問七 (1) ウ (2) イ (3) エ

三

- 問一 イ
問二 エ
問三 エ
問四 食べ物を粗末にできず、貧しい暮らしぶり。
問五 ③ ア ⑥ ウ
問六 金銭
問七 エ
問八 陽気な母がいなくなり、落ち込んでいる様子。
問九 楽しい気持ちで食事ができなかったから。
問十 ア
問十一 ア
問十二 頼りにしている母が戻り、父が元気になって安心した気持ち。

解説

二

- 問二 傍線②を含む段落に着目します。植物はどんな状況になっても動くことができず、エネルギー源は光合成だけであることから、選択肢アが選べます。
問四 傍線④の前には、アレクサンダー大王は、科学への造詣が深く未知の事象への関心が深い科学者であったことが述べられています。そこでアレクサンダー大王が詳しく記録しておくように命じていたものは、直前の「遠征の中で見聞きする新しい科学的知見」とわかります。

三

- 問四 「昔から釣りが」で始まる段落に、「職も家もない、売るものもない親子三人暮らし。ないないづくしの日々で、魚は貴重な食料になったのだ。」という記述があるので、生活が苦しく、食べ物を粗末にできない様子をまとめます。
問十 傍線⑨の前には、私から見た父の様子と、私自身の気持ちちが、具体的に表現されています。不安な気持ちに負けず、父を上げましている姿から、選択肢アが選べます。